

大特撰樂譜

第百二十五 第百二十六
合同 増大 編

三部唱

御國の眺め

西歐名曲
尤童球溪作歌

獨唱

蝶と小鳥

西歐名曲
傳田治朗作歌

大鈴 原田以古工氏

成樂會編

御國の眺め (三部合唱)

歌曲名
作名
球溪
童歌
尤成
犬西

Brillante.

♩=108

p ハトリ サナクニ ミヤマシ アミツ パノニ ユカケニ ムシミ ナクニ
 ナナクニ ミヤマシ アミツ パノニ ユカケニ ムシミ ナクニ

p ヲバモモ カレのの はからも ヨツノト キドキ
 ヲバモモ カレのの はからも ヨツノト キドキ

ウ ル ハ シ キ ヨ シ *mf* ウ ター ヒ テ タ ター ヘ ヨ
 る は し き よ し う たー ひ て た たー へ よ

あ あ あ あ
 ミクニノナがめ あした ユフベニウ タヒテタタヘ
 みくにのながめ あした ユフベニウ たひてたたへ

rit *a tempo*
 ノナがニメウハシウ ルハニシ
 のながニめうるはしうるハニシ

ユ フ ベ ニ *mf* タ マ シ ター ア シ ベ ナ ツ フ キ スー ム ニ
 も リ ベ ニ ま マ シー ター ア シ ベ ナ ツ フ キ スー ム ニ

ウ ル ハ シ ニ ウ ル ハ シ
 は な を ウルハシ ウルハシ ミクニ
 は な を ウルハシ ウルハシ

ノ ナ が ニ メ ウ ハ シ ウ ル ハ ニ シ
 の な が ニ め う ら は し う る は ニ シ

御國のながめ

犬童球溪作歌

1

花咲くみ山、青葉の木かげ、
虫鳴く野邊も、雪積む間も、

四つの時々美はし清し。

歌ひ、讀へよ御國のながめ。

(嗚呼、嗚呼) 歌ひて讀へよ。

長閑けき春光、涼しき夕べ、

玉歌く朝、月澄む夜頃、

美はし〜、御國のながめ美はし。

2

鳥啼く林、水澄む小川、

紅葉づる山も、枯野の原も、

四つの時々美はし清し。

歌ひて讀へよ御國のながめ。

(嗚呼、嗚呼) 歌ひて讀へよ。

霞める空を、蝶鳴く森を、

千草の野邊を、吹雪の花を、

美はし〜、御國のながめ美はし。

蝶と小鳥

傳田治朗作歌

1

ヒラ〜〜〜〜〜 ヒラ〜〜〜〜〜 千草の花より花へと

ヒラ〜〜〜〜〜 ヒラ〜〜〜〜〜 あこがれ遊ぶ胡蝶や

花によひて、ヒラリ〜〜〜 舞ふよ舞ふよアレ

友と羽袖をかばして舞ふよアレ

御空より降りも来る 花かあらずか

おもしろのうつくしの 蝶の舞や

2

ヒヨ〜〜〜〜〜 ヒヨ〜〜〜〜〜 若葉の枝より枝へと

ヒヨ〜〜〜〜〜 ヒヨ〜〜〜〜〜 よろこび遊ぶ小鳥や

のどを張りてヒヨロヒヨロ〜〜〜 鳴くよ鳴くよアレ

友と巧を競ひて鳴くよアレ

御空よりひびき来る 葉かあらずか

おもしろのこころよの 鳥の歌や

大正十四年五月一日印刷

會費 一部十二錢 送料三錢
毎月頭部送料二枚一組發行
半年會費送料共一圓廿五錢

編輯兼 原田彦四郎

發行所 樂譜印刷研究所

右代表者 大橋利康
静岡市東藤原町五二番

發行所 成樂會

静岡市東藤原町五二番
振替各戸一〇二四八番

東京 中井博士邸内原田

事務所 東京市外田端三四六